

—平成 28 年 5 月—

平成 27 年度事業報告書及び収支決算報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本化学研究会

平成27年度事業報告書

公益財団法人 日本化学研究会

I. 事業の状況

① 化学研究に対する助成（定款第4条第1号） 2,950,000円

氏名	所属機関・職	研究課題	助成金額
山田 美和	岩手大学農学部・助教	Ochrobactrum sp. AIU 033 由来アルコール酸化酵素のグリコール酸に対する高活性変異体スクリーニングアッセイ系の構築	600,000円
真壁 幸樹	山形大院・理工・准教授	アルツハイマー治療薬を目指した蛋白質の新規骨格の構築	600,000円
三浦 智明	新潟大理学部・助教	光-磁気応答型ドラッグデリバリーに向けた二分子膜界面電子移動の研究	550,000円
古山 溪行	東北大理学研究科・助教	新規イソインドール二量体合成法の開発を鍵とした反芳香族性分子の創成	600,000円
千坂 光陽	弘前大学理工学・助教	燃料電池正極における金属酸窒化物担持酸化グラフェン触媒の開発	600,000円

② 化学情報の流通に関する研究及び事業に対する助成（定款第4条第2号） 502,000円

氏名	所属機関・職	研究課題	助成金額
小林 亮	東北大多元研・助教	新機能無機物質探索研究のプラットフォームとなるウェブサイトの構築	502,000円

③ 海外渡航に対する助成（定款第4条第3号） 740,000円

氏名	所属機関・職	研究課題	助成金額
中野 元善	東北大院・理学・助教	環太平洋国際化学会議 2015（ハワイ）、2015.12.15～12.20	250,000円
藤井 達也	産総研・研究員	環太平洋国際化学会議 2015（ハワイ）、2015.12.15～12.21	240,000円
越後 拓也	秋田大国際資源学・准教授	第32回アルカリ火成作用と戦略的金属鉱床に関する国際会議（ロシア、アパーチトウイ市）、2015.8.7～8.14	250,000円

④ 事業関係経費

事業関係理事間協議、各選考委員会開催、事業関係事務経費等に充当した。

II. 庶務の概要

(1) 理事、監事に関する事項

①平成27年4月1日から平成27年6月21日まで

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	松本 繁	平 25.8.1	業務の総括・海外渡航	なし	東北大学名誉教授	平成 8.5
常務理事	非常勤	飛田 博実	平 25.8.1	庶務・事業	なし	東北大学教授	平成 19.5
常務理事	非常勤	佐藤 次雄	平 25.8.1	会計	なし	東北大学教授	
理事	非常勤	根東 義則	平 25.8.1		なし	東北大学教授	
理事	非常勤	西野 徳三	平 25.8.1	情報研究・事業助成	なし	東北大学名誉教授	平成 15.5
監事	非常勤	寶澤 光紀	平 25.8.1		なし	東北大学名誉教授	平成 15.5
監事	非常勤	伊藤 翼	平 25.8.1		なし	東北大学名誉教授	平成 17.5

◇備考の年月は最初の就任の年月。

②平成27年6月21日から平成28年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	西野 徳三	平 27.6.22	業務の総括・海外渡航	なし	東北大学名誉教授	平成 15.5
常務理事	非常勤	松本 繁	平 27.6.21	会計	なし	東北大学名誉教授	平成 8.5
常務理事	非常勤	飛田 博実	平 27.6.21	庶務・事業	なし	東北大学教授	平成 19.5
理事	非常勤	根東 義則	平 27.6.21	庶務	なし	東北大学教授	平成 25.8
理事	非常勤	佐藤 次雄	平 27.6.21	助成事業	なし	東北大学教授	平成 25.8
監事	非常勤	寶澤 光紀	平 25.8.1		なし	東北大学名誉教授	平成 15.5
監事	非常勤	伊藤 翼	平 25.8.1		なし	東北大学名誉教授	平成 17.5

◇備考の年月は最初の就任の年月。

(2) 評議員に関する事項

平成28年3月31日現在

職名	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	現職	備考
評議員	池上 雄作	平成 25.8.1		なし	(学)三島学園相談役・東北大学名誉教授	
評議員	古山 種俊	平成 25.8.1		なし	東北大学名誉教授	
評議員	山田 宗慶	平成 25.8.1		なし	東北生活文化大学長・東北大学名誉教授	

(3) 職員に関する事項

平成28年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当事務	手当	備考
事務局長	非常勤 (常勤職員なし)	西野 徳三	平成 27.6.22	庶務・会計	なし	理事長が兼務

(4) 会議等に関する事項

①理事会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 27 年 6 月 6 日、 第 177 回 理事会	<p>1. 「平成 25 年度事業報告書及び収支決算報告書」の改定について 昨年の第 175 回理事会で承認された「平成 25 年度事業報告書 及び収支決算報告書」は、平成 27 年になって内閣府公益認定等 委員会事務局の担当者から幾つかの不備な点についての指摘が あり、全面的に作成し直した旨、理事長より説明があった。</p> <p>2. 「平成 26 年度事業報告書及び収支決算報告書(案)」について 平成 26 年 4 月 1 日から 27 年 3 月 31 日までの期間に関する「平 成 26 年度事業報告書及び収支決算報告書 (案)」(配布資料 3) について、理事長から事業報告書、収支計算書、正味財産増減 計算書、貸借対照表及び財産目録について詳細な説明があった。 続いて、4 月 28 日の寶澤、伊藤両監事による監査の結果、法令 及び定款に照らして正当であると認められた旨伊藤監事から報 告があり、この報告を受けて審議した結果、収支計算書の中で、 予算額と決算額の差が大きい科目については注をつけたほうが よいとの指摘があり、そのようにすることにした。</p> <p>3. 平成 27 年度の化学研究連絡助成交付金の決定について 本年度の化学研究連絡助成事業に対しては、総数 23 件(化学 研究 18 件、情報研究・事業 1 件、海外渡航 4 件)の応募があっ た。配布資料 4 を基に、各選考委員会の委員長から選考結果につ いて報告があり、審議の結果、原案通り化学研究助成 5 件、情報 研究・事業 1 件、海外渡航 3 件を採択することに決めた。 なお、採択された化学研究助成の中に東北大学の教員が含ま れていることに関して、「化学研究助成規程に対する了解事項に 反するのではないかと」の指摘があり議論したが、公表した申請要 項並びに選考の過程でその点を徹底しなかったため、了解事項そ のものも含めて今後の検討課題とすることにした。</p> <p>4. 評議員会の開催について 定時評議員会の日時、場所等については、6 月 21 日(日) 15 時(予定)から、春風亭を第一候補として評議員の都合をうかが うこととした。</p>	<p>全員了承</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員了承</p>
平成 27 年 6 月 21 日、 第 178 回 理事会	<p>1. 次期理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)につ いて て 松本理事長から、体調がすぐれないので、次期理事長職は辞 退したいとの申し出があり、審議した結果、これを了承し、次期 の役付き理事の選任について審議した。その結果、理事長(代表 理事)に西野徳三、常務理事(業務執行理事)事業担当に飛田博 実、会計担当に松本繁の各理事を選任した。なお、本日欠席の根 東理事の意向については、直ちに確認することとした。</p> <p>2. 主たる事務所の変更について 今般理事長が松本 繁理事から西野徳三理事に交代すること になったので、財団の主たる事務所を 仙台市青葉区南吉成二 丁目 15 番 3 号に変更したい旨、理事長より提案があった。</p>	<p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p>

<p>平成 28 年 3 月 12 日、 第 179 回 理事会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度事業計画書及び収支予算書について 添付資料 1 のミスプリント 1 カ所を訂正した資料を基に審議したいと理事長より説明があった。昨年度と異なるのは財団法人日本化学研究会 88 周年記念誌（約 260 頁）の印刷（約 70 万円）を予定している他はほぼ例年通りである旨の説明がなされ、協議した結果、平成 28 年度事業計画書及び収支予算書は原案のまま全会一致で議決承認された。 2. 平成 28 年度化学研究連絡助成金交付申請書案について 財団のホームページに掲載する平成 28 年度化学研究連絡助成金交付申請書要項を前年から少し変更して、助成の対象となる者の項目の「化学研究助成」のところに東北大学を除く文言を入れる案（添付資料 2）が飛田理事から説明され、審議した。 3. 化学研究連絡助成規程の変更について（添付書類 3） 第 2 議題の交付申請書の変更に至った経緯を、参考資料-1（化学研究連絡助成金応募者の一部制限について）について説明し、あわせて化学研究連絡助成規程をも連動して変更する必要がある旨の説明が理事長からなされ、規程変更案について審議した。 4. 化学研究連絡助成各選考委員会委員の改選及び選考費について 任期満了の委員の改選とこれまで支払ってこなかった選考時の選考費について添付資料 4 により審議した。その結果委員会名の文言の訂正や委員の所属の正式名などを訂正して審議を続けた。 5. 理事の職務（役割分担）について 前回の理事会で未決だった助成事業担当と庶務担当理事（案）（添付資料 5）について理事長から説明があり、審議した。 6. 旅費規程の一部変更について これまで支給してきた市内交通費 5,000 円と、日当 3,000 円（ただし、会議等が長時間に及ぶ場合あるいは夜間に及ぶ場合を除いて日当を支給しない）の日当の部分の日当 5,000 円（ただし、会議等が長時間に及ぶ場合あるいは夜間に及ぶ場合を除いて日当を支給しない）に変更したいと添付資料 6 をもとに審議した。 7. 事務所使用契約書（案）（添付書類 7）について 当法人の事務所を理事長の自宅に置き、月 22,000 円の経費を支払うという方式が昭和 52 年以来とられてきたが、この際、本会と理事長宅とで契約書を取り交わし、借用費として月 30,000 円と明記しておきたい旨理事長から提案があり、協議した。約 50 年前の三井生喜雄理事長の時から慣例であり、電話・ファックス・パソコンメールを送受信し、書留や宅急便等を受領し、銀行や郵便局へ頻繁に出向く等の雑務は大変であったのでこの案件は妥当であると松本前理事長からも意見が披露され、過去のいきさつについての若干の質疑討論がなされた結果、理事長の提案を全会一致で承認した。 8. その他 当公益財団のような収益性のない助成財団の今後の運営方針や会計処理方針について若干の意見交換が行われた 	<p>全員一致で 議決、承認 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p> <p>全員一致で 承認・可決 した</p>
--	--	---

②評議員会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 27 年 6 月 19 日、 第 84 回評 議員会	<p>1. 次期理事の改選について 平成 26 年度最終評議員会を以て任期となる平成 26 年度理事の改選について審議した。松本理事長（代表理事）から、再任を辞退したいとの申し出があり、協議した結果、代表理事の退任はやむを得ないが、理事として再任を願うことにして了承を得、さらに現状を勘案し、現在の 5 理事（松本繁、西野徳三、佐藤次雄、飛田博実、根東義則の全理事）に再任を依頼することを決定した。なお、代表理事及び 2 名の業務執行理事は今後開催される理事会において選出されることになる。</p> <p>2. 業務分担と報酬について 定款第 25 条で理事及び監事は無報酬とされているが、本会事務所を代表理事の自宅に依頼していることもあって、代表理事の負担が重くなっているため、今後業務分担と理事への謝金などについて考慮する必要があるとの提言があった。</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員了承した</p>
平成 27 年 6 月 21 日、 第 85 回評 議員会	<p>1. 理事の選任について 前回の評議員会にて決定した通り、松本現理事長（代表理事）の代表理事の退任はやむを得ないが、現在の 5 理事（松本繁、西野徳三、佐藤次雄、飛田博実、根東義則の全理事）に再任を依頼することを再確認した。松本現理事長には次期役員人事の届出などの事務手続きを進めるように依頼した。</p> <p>2. 平成 26 年度事業報告書及び収支決算報告書(案)について 理事長から配布された平成 26 年度事業報告書及び収支決算報告書（修正案）に関して、前回の評議員会で指摘された点等に基づく修正が適切になされたことを確認し、評議員会として両報告書を了承した。</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員了承した</p>

③選考委員会（平成 27 年度化学研究連絡助成金交付者の選考）

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
[化学研究選考委員会]		
平成 27 年 5 月 17 日	1. 申請 18 件のうち 5 件の採択を決め、理事会に報告することとした。	全会一致で承認した
[情報研究・事業選考委員会]		
平成 27 年 5 月 25 日	1. 申請が 1 件であったので持ち回り会議により選考を行い、1 件の採択を決め、理事会に報告することとした。	全員一致で承認した
[海外渡航選考委員会]		
平成 27 年 5 月 25 日	1. 申請 4 件を持ち回り会議により選考を行った。内 1 件が平成 25 年度化学研究助成（60 万）を受けているので募集要項に記載の通り 5 年以内に助成を受けたものを除くことにし、残り 3 名の採択を決め、理事会に報告することとした。	全員一致で承認した

(5) 許可、認可、承認、証明等に関する事項
なし

(6) 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
「該当なし」		

(7) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄付者	申込金額	受領金額	備考
「該当なし」				

(8) 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
「該当なし」		

(9) その他の重要事項（官公庁関係事項）

平成 27 年 6 月 29 日 公益法人インフォメーションサイトから内閣府へ、26 年度の「事業報告等」等を送付した。

7 月 3 日 仙台法務局で理事長（代表理事）変更、主たる事務所の変更登記を行い、16 日に「登記事項証明書」を受領した。

7 月 16 日 内閣府公益法人インフォメーションサイトから理事長（代表理事）変更、主たる事務所の変更を「登記事項証明書」を添えて送信した。

3 月 24 日 28 年度の事業計画、予算書等の「事業計画書等」を、第 179 回理事会議事録を添えて公益法人インフォメーションサイトから内閣府へ送信した。

収 支 計 算 書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

(公財)日本化学研究会

(単位: 円)

科 目	平成 27 年 度 予算額	平成 28 年 3 月末日 決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
:みずほ信託銀行仙台支店	14,000	14,000	0	
2 運用財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
:みずほ信託銀行仙台支店	96,000	117,280	21,280	
(2) 普通預金受取利息				
:みずほ信託銀行仙台支店	0	824	824	
ほか 2 店				
(3) 株式配当金	800,000	903,310	103,310	
3 雑収入				
東京海上日動火災保険解約金	0	2,500	2,500	注 1
前事務室敷金返金	0	4,952	4,952	
みずほ銀行貸金庫解約金等	0	5,941	5,941	
(1~3 小計)	910,000	1,048,807	138,807	
4 特定資産取崩収入				
・化学研究連絡助成資金				
積立預金取崩収入	5,000,000	4,000,000	△ 1,000,000	
・普通預金(みずほ信託銀行)	0	2,696,920	2,696,920	
当期収入合計 (A)	5,910,000	7,745,727	1,835,727	
前期繰越収支差額	1,018,975	1,045,036	26,061	
収入合計 (B)	6,928,975	8,790,763	1,861,788	

注 1 事務室を民間のアパートから鉄筋のビルディングに移転したため火災保険を解約した。

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
・化学研究助成費	3,000,000	2,950,000	△ 50,000	5 件
・情報研究・事業助成費	1,000,000	502,000	△ 498,000	1 件
・海外渡航助成費	1,000,000	740,000	△ 260,000	3 件
・事業執行経費	1,310,000	1,536,655	226,655	注 2
(事業費合計)	6,310,000	5,728,655	△ 581,345	
2 管理費				
・給料手当	0	0	0	
・会合費	200,000	253,194	53,194	
・旅費交通費	200,000	316,000	116,000	注 3
・通信運搬費	40,000	159,363	119,363	注 4
・消耗品費	20,000	0	△ 20,000	
・印刷製本費	150,000	136,719	△ 13,281	
・事務室経費	300,000	379,787	79,787	注 2
・保険料	20,000	0	△ 20,000	
・諸謝金	150,000	227,280	77,280	注 5
・租税公課	50,000	0	△ 50,000	注 6
・雑費	100,000	190,970	90,970	注 7
(管理費合計)	1,230,000	1,663,313	433,313	
3 予備費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	7,540,000	7,391,968	△ 148,032	
Ⅲ 収支差額				
当期支出差額 (A) - (C)	△ 1,630,000	353,759	1,983,759	
次期繰越収支差額(B) - (C)	△ 611,025	1,398,795	2,009,820	

注 2 事務室を移転したため賃貸料が年度途中で高くなったため

注 3 移転のための会合が増えたため

注 4 電話、インターネットの移転設置費が発生したため

注 5 事務室移転時の謝金が発生したため

注 6 前もって申請すると免除となるため

注 7 事務室移転時の引越し移転費用が約 15 万円発生したため

正味財産増減計算書

(公財)日本化学研究会

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
1一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	14,000	14,000
基本財産受取利息	0	14,000	14,000
特定資産運用益	1,021,414	0	1,021,414
特定資産受取利息	118,104	0	118,104
特定資産受取配当金	903,310	0	903,310
雑収益	0	13,393	13,393
敷金等の解約金	0	13,393	13,393
経常収益計	1,021,414	27,393	1,048,807
(2) 経常費用			
事業費	5,728,655		5,728,655
給料手当	0		0
臨時雇賃金	0		0
選考経費	233,214		233,214
通信運搬費	183,612		183,612
印刷製本費	106,987		106,987
事務室関係費	780,422		780,422
事業事務経費	18,295		18,295
支払助成金	4,192,000		4,192,000
謝金及び雑費	214,125		214,125
管理費		1,663,313	1,663,313
給料手当		0	0
会議費		253,194	253,194
旅費交通費		316,000	316,000
通信運搬費		159,363	159,363
印刷製本費		136,719	136,719
事務室経費		379,787	379,787
消耗品費		0	0
保険料		0	0
諸謝金		227,280	227,280
租税公課		0	0
雑費		190,970	190,970
経常費用計	5,728,655	1,663,313	7,391,968
当期経常増減額	△ 4,707,241	△ 1,635,920	△ 6,343,161
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券当期評価損益	△ 8,054,340	0	△ 8,054,340
(2) 経常外費用		0	0
経常外費用		△ 126,000	△ 126,000
経常外費用計		△ 126,000	△ 126,000
当期経常外増減額	△ 8,054,340	△ 126,000	△ 8,180,340
当期一般正味財産増減額			△ 14,523,501
一般正味財産期首残高			294,123,616
一般正味財産期末残高			279,600,115

貸借対照表

平成28年3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	平 成 2 7 年 3 月 3 1 日 現 在	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,398,795	1,045,036	353,759
流動資産合計	1,398,795	1,045,036	353,759
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
◎化学研究連絡助成資金	209,600,000	216,296,920	△ 6,696,920
有価証券	33,601,320	41,655,660	△ 8,054,340
特定資産合計	243,201,320	257,952,580	△ 14,751,260
(3) その他の固定資産			
事務室敷金	0	126,000	△ 126,000
その他の固定資産合計	0	126,000	△ 126,000
固定資産合計	278,201,320	293,078,580	△ 14,877,260
資産合計	279,600,115	294,123,616	△ 14,523,501
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	279,600,115	294,123,616	△ 14,523,501
(うち基本財産への充当額)	35,000,000	35,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	243,201,320	257,952,580	△ 14,751,260
正味財産合計	279,600,115	294,123,616	△ 14,523,501
負債および正味財産合計	279,600,115	294,123,616	△ 14,523,501

財 産 目 録

平成28年3月31日現在 (公財) 日本化学研究会

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現 金 現金手許有高	67,414		
普通預金:みずほ信託銀行仙台支店	525,681		
普通預金:みずほ銀行仙台支店	0		
普通預金:七十七銀行旭ヶ丘支店	805,700		
流動資産合計		1,398,795	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金: みずほ信託銀行仙台支店	35,000,000		
基本財産合計	35,000,000		
(2) 特定資産			
化学研究連絡助成資金			
普通預金:みずほ信託銀行仙台支店	1,400,000		
定期預金:みずほ信託銀行仙台支店	208,200,000		
有価証券(株券)			
三菱ケミカルHD(株) 24,800株	14,570,000		
旭硝子(株) 30,895株	19,031,320		
特定資産合計	243,201,320		
(3) その他の固定資産			
事務室敷金	0		
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		278,201,320	
資 産 合 計			279,600,115
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			279,600,115

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 特定資産である有価証券(株券)は、本年度期末日の市場価格に基づく時価法によっている。評価額は次の通りである。
- (2) 「化学研究連絡助成資金」とは、従来の特定期資産である「化学研究連絡助成基金」の名称を変更したものである。

2. 有価証券の評価価格は次のとおりである。

銘柄	三菱ケミカル HD	旭硝子	計
株数	24,800	30,895	55,695
取得価格	1,431,547	1,444,940	2,876,487
平成 27 年 3 月 31 日現在評価：平成 27 年度期首			
株数	24,800	30,895	
株価	698	788	
評価額	17,310,400	24,345,260	41,655,660
当期評価損益	6,671,200	5,870,050	12,541,250
平成 28 年 3 月 31 日現在評価：平成 28 年度期首			
株数	24,800	30,895	
株価	587.5	616	
評価額	14,570,000	19,031,320	33,601,320
当期評価損益	△2,740,400	△5,313,940	△8,054,340

以上